

要 望 書

鹿児島県知事 塩田 康一 殿

輸血用血液製剤の安定供給に係る血液備蓄所の設置に関する要望書

平素より、奄美群島の発展に格別のご高配を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、奄美群島内の輸血用血液の備蓄については、民間の血液備蓄所が日本赤十字社から委託を受けて運営しておりましたが、平成 29 年度末に撤退し、その後、やむをえず県立大島病院による院内備蓄業務が開始されました。

しかし、人員体制や保管場所の確保等の課題に加え、廃棄血による費用増加など多くの負担が生じているのが現状です。

廃棄血を減少させるためブラッドローテーションの取組みも行っておりますが、抜本的な解決には至っておりません。

離島は限られた医療資源のなかで急性期医療等に対応しなければならず、天候によっては輸送手段も断たれてしまうことから、血液製剤の確保が失われてしまえば、人命へ甚大な影響を及ぼす懸念があります。

離島医療の脆弱性を少しでも解消していくという観点からも、今後、奄美地域全体において輸血用血液製剤を迅速に安定的に供給していくために、血液備蓄所の設置につきまして、特段のご高配を賜りますよう強く要望いたします。

令和 6 年 1 月

奄美市議会